

看過された津川と阿賀野川船

「光子は、若い女が見聞したことを、後年思い出して書いた回想記であるが、新潟に關することは、当時の実情をよく描写して、われわれの参考になることが多い。だが、若松から新潟迄のことについて、「新潟迄は四十里の山道」などという一語は大なる誤りである。

というのは、当時、会津越後において交通上重要視されていた阿賀野川や津川のこと全く無視されているからである。

明治三年六月、元会津藩の家族達が斗南藩へ移住する時、荒川勝茂は船中取替しを添え、道中並びに船中取替しと動めていたことが、その著「明治日誌」に記されているが、これを見ると、荒川は六月六日午前四時過ぎ、若松出立、その日の泊りは坂下。六月七日は野沢泊り。六月八日は室川泊り。六月九日津川泊り、



ヤンシー号

六月十日の午前六時頃、津川を出立、その日の午後五時頃、新潟に到着していることであり、室川などにまで泊っているのは、婦女子や子供老人を同行していたからである。

津川を朝立して、夕方新潟に着いているのは、天候もよく途中に道草を食わなかった時で、津川を朝立して、翌朝八時頃、新潟に着くようなこともあったのである。

なお、この場合、「津川から阿賀野川を下って、新潟へ行く」ということは、阿賀野川を下って、満願寺と両川を結ぶ「小阿賀野川」を経て、新潟へ行くことであり、荒川等の監督する津川発の川船が新潟港に到着したのは午後五時頃であったと記している。

新潟に到着した時は、既に移住の役員が出迎えにきており、その案内によって、寺町(西堀通)の汽船に行き、ここで斗南藩行の船に上り、女主人達は全部下宿することになっていた。これは他の場合も同様で、前に光子等が記しているように「運悪く寺町の寺院を宿所に当てられた」わけではなかった。

津川から新潟へ下り、新潟

明治3年斗南藩行 米国蒸汽船ヤンシー号

新 潟 港	入 港 月 日	斗南藩行 乗船人員	斗南藩行 積 荷
入 港 番 号	出 港 月 日		
午 9 番	入 出 5月24日 5月29日	718人	米 2,585俵 荷物 129箇
午 11 番	入 出 6月7日 6月9日	625人	米 1,964俵 荷物 1,648箇
午 13 番	入 出 6月16日 6月19日	1,692人	米 2,002俵 荷物 2,000箇
午 17 番	入 出 9月9日 9月24日	なし	斗南藩移住関係の積荷なし
午 18 番	入 出 10月14日 10月18日	2,280人	荷物 2,469箇 その他
午 19 番	入 出 10月24日 10月1日	2,256人	荷物 2,757箇 その他
合 計		人員 7,571人	米 6,551俵 荷物 9,003箇

(注) 「午9番」とは明治3年の午年に新潟港に第9番目に入港した外国船という意味である。

とある。もともと、元会津藩士の斗南行きの場合には、女子供老人が多かったため、積荷など

斗南女人往来(三) 阿達義雄

「下り新潟港までは、途中酒屋廻りで一泊するのみで、二日位で着船する。上りは四日から六日位かかり、谷口の小浮村、笹城村廻りから曳舟入夫を雇い、津川迄積荷舟を曳き上げる。したがって、一航海に大体八日間から十日間を要するわけである。」

「阿賀野」(昭和五十六年三月号)に発表されている山崎久雄氏の「五十島村渡辺家文書における文化から安政年間にかけての記録の調査である。」

「新潟開港百年史」(新潟市編集)の百九頁を見ると、(明治三年)「新潟港外国船出入調」という一覽表があり、この年に新潟港に出入した二十隻の外国船の名が列挙されてある。

「本船と申しても昨今のよう大きな船ではなく、それへ千人も詰め込んだのですから、船室も甲板も足の踏み場もなく一杯でございませぬ」と述べているので、この年、即ち明治三年に新潟港に入港した外国船について調べてみよう。

「新潟開港百年史」(新潟市編集)の百九頁を見ると、(明治三年)「新潟港外国船出入調」という一覽表があり、この年に新潟港に出入した二十隻の外国船の名が列挙されてある。

この中の蒸汽船だけについて、「新潟開港百年史」の「付録第六」によつて、斗南藩移住用の荷物や移住者を調べてみると、これらについて記載している蒸汽船は米国のヤンシー号に限られていることが知られる。

もともと、このヤンシー号は明治三年に新潟港に何回も寄港しているため、これを明らかにするために、次に一覽表を作成して示してみよう(左の表を参照)。

明治三年に新潟港に入港した最大の蒸汽船は右のヤンシー号であり、次は英國のネフの八二二、第三位は英國のテイレフの七七四であった。したがって、ヤンシー号のものに比べて小さい蒸汽船ではなかったが、後に千六百人以上、或は二千二百人以上も乗せたので、足の踏み場もないほどになったのである。(新潟大学名誉教授)

幕末明治夜話 (143)

六月十日の午前六時頃、津川を出立、その日の午後五時頃、新潟に到着していることであり、室川などにまで泊っているのは、婦女子や子供老人を同行していたからである。

「阿賀野」(昭和五十六年三月号)に発表されている山崎久雄氏の「五十島村渡辺家文書における文化から安政年間にかけての記録の調査である。」

(五) 斗南藩行の米国 蒸汽船ヤンシー号

「本船と申しても昨今のよう大きな船ではなく、それへ千人も詰め込んだのですから、船室も甲板も足の踏み場もなく一杯でございませぬ」と述べているので、この年、即ち明治三年に新潟港に入港した外国船について調べてみよう。

スポーツ教室で さわやかな汗を

四月から「スポーツ教室」に参加を希望される人を募集します。「スポーツ教室」は、市民に手軽に運動のできる場を提供しようと、市民会館の大ホールで開いているものです。教室に新たに加入を希望される人や、継続される人は、までに「スポーツ傷害保険料」「スポーツ教室の時間と種目」を、毎週火曜日の午前10時正午、パレオホール・パドミントン・卓球・体操



(五十円)を添えて社会体育課(☎22-0916)へ

茨川体操教室で 会員を募集

茨川体操教室レクダンスでは、四月以降の年度の会員を募集しています。楽しく体を動かしてみたい方は、どなたでも参加できます。

【練習日】：毎週(毎週金曜日)の午前10時正午、夜の部(毎週水曜日)の午後七時三十分(九時)

「老人生きがい教室」に参加を希望される方を募集します。この教室は、趣味などの活動を通じて交流の深まることにより、お年寄りの皆さんから、はりのある生活を送っていただくために開かれています。六十歳以上の方ならどなたでも参加できます。

なお、現在、教室に参加されている人も、改めてお申し込みください。

【教室の種類】：書道、民謡、生花、絵画、茶道、民芸、囲碁、将棋

【ところ】：老人福祉センター



子どもには朝食を食べさせて...

2月16日、新潟土地改良会館に河内さくらさんを招き、「子どもたちの食生活を考える」と題した講演会が行われました。訪れた約150人の人たちは、河内さんの「よい母親とは、子どもにちゃんと朝食を食べさせること」という話に、熱心に耳を傾けていました。



卒業式(案内)

3月は、卒業式シーズンです。市立保育所、幼稚園、小学校、中学校の卒業式(園)式が、次の日程で行われます。

【市立保育所】

- 茨川…25日(金)の午前9時から
- 第一、第二、東、田家、金津、新金沢、中沢…25日(金)の午前9時30分から

【市立幼稚園】

- 各幼稚園とも23日(水)の午前10時から

【小学校】

- 結、小合東、小合、金津、阿賀、第三…24日(木)の午前9時30分から
- 第一、第二、満日、市之瀬、新関…24日(木)の午前10時から

【中学校】

- 第一…14日(月)の午前9時から
- 第五…14日(月)の午前9時15分から
- 第三、小合、金津、新関…14日(月)の午前9時30分から
- 第二…14日(月)の午前10時から

市民綱目大会

【とき】：三月二十七日(日)の午前九時から

【ところ】：第一小学校体育館

【人数】：男・女別で、一チーム八人(十二人(高校生以上)の市内に在住または在勤の引きを行います(男子八人の合計体重は五〇〇ポンド以下、女子八人の合計体重は四八〇ポンド以下とします)

【申込み】：三月十八日までに

【活動】：月二回程度

【参加費】(四月から、次のように改正されます。年額)：書道三千六百円、民謡三千八百円、生花五千五百円、絵画六千円、茶道三千六百円、民芸・囲碁・将棋は無料

【申込み】：三月十五日までに老人福祉センター(☎22-0814)へ

参加料一チーム千円(保険料)を添えて社会体育課(☎22-0916)へ

新発田総合高等職業訓練校

新発田総合高等職業訓練校では、次のように四月入校生を募集します。

- 普通課程(機械、自動車整備、建築、塗装の各科)
- 応募資格：中学校または高等学校を卒業した人(今春三月卒業予定の人も含みます)
- 願書受付：三月一日(十九日)
- 職業転換課程(生産技術住宅・設備の各科)
- 応募資格：中高年齢の失業者、工業再配置に伴う離職職者など
- 願書受付：三月下旬まで
- 応募方法など詳しいことは、新発田総合高等職業訓練校(☎0254-4231216)へお問い合わせください。

お買物、ご用命は市内で

畳替え、匂うい草の心地良さ

●新畳(1帖) 10,000円 ●表替(1帖) 6,000円

※以上は私共が自信を持っておすすめする品です。

■お問い合わせ、ご注文はお近くの畳店、または下記へ

新津畳協同組合 ☎ 22-7923

お買物、ご用命は市内で

新津市本町4丁目5番2号

山弥造花店

式壇祭壇 儀付祭壇 一気忌用祭壇 葬電年花環盛籠造花一般 花環籠造花調製

本町4 チュリップ店会 お店紹介

電話 本店 22-0864 番 FAX専用 22-2470 番